

第1回基本政策部会 議事要旨

1. 日時：平成26年7月18日（金） 11：30－13：30

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、山川部会長代理、青木委員、片岡委員、久保委員、後藤委員、白坂委員、松井委員

(2) 政府側

山本内閣府特命担当大臣(宇宙政策)、西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官

(3) その他

葛西宇宙政策委員会委員長

4. 議事要旨

冒頭、山本大臣から以下のような挨拶があった。

- ・基本政策部会においては「安全保障政策と連携した宇宙政策の在り方」、「宇宙開発利用及び基盤整備に関する中長期のビジョン」等についてご議論いただくものと承知。
- ・宇宙政策委員会は発足から2年になるが、宇宙政策の立案・推進に大きな役割を果たしている。同委員会の機能を更にレベルアップして、更に大きな役割を果たしていただきたい。
- ・この部会は内外から大いに注目を集めており、大いに期待。
- ・国家安全保障宇宙戦略と呼ぶかどうかは別にして、安全保障政策と連携した宇宙政策についてもしっかりとした戦略を議論していただきたい。
- ・本部会には精力的に議論を進めていただき、担当大臣としてできるだけ参加し、フォローしていきたい。

更に葛西委員長からの挨拶があり、次に委員紹介の後、中須賀部会長より、部会長代理として山川委員が指名された。

(1) 基本政策部会の今後の検討の進め方について

資料2及び資料3等に基づき事務局から説明を行った後、資料3「基本政策部会の今後の検討の進め方（案）」については部会として了承された。

(2) 関係府省等からのヒアリング

今後10年間の衛星等の宇宙インフラ整備に関する大まかなビジョンについて、資料4-1から資料4-9に基づき、それぞれ内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省及び宇宙航空研究開発機構からヒアリングを行った。

また、科学科学・探査部会長である松井委員、宇宙輸送システム部会長である山川委員からそれぞれの部会の中長期ビジョンに関する議論について紹介があった。

これらを踏まえて、委員から、以下のような意見があった。

○部品の民生化、国産化についても検討していくべきではないか。

- 日米ガイドラインの改定等において宇宙に関係するところがあると思われる。
我が国としてグローバルコモンズとしての宇宙をどう活用していくかについて、この場でも検討すべき。
- 安全保障分野における宇宙の利用価値は高くなっている。安全保障と宇宙の基盤をマッチングさせていくという視点からの議論も重要。
- 大きなテーマとして安全保障があり、その対極として宇宙産業をビジネスとしてどう位置付けていくかというテーマがある。その中間に気象、環境保全等の宇宙利用があるのではないか。
- レジリエンス(抗たん性)を高めていくための外国や民間との協力、規範作りへの参画も重要。

以 上